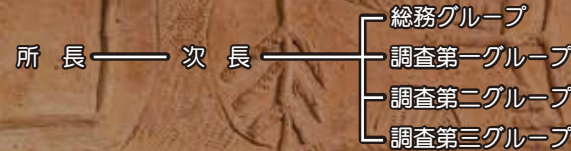


設立

青森県内では昭和40年代後半から開発事業に伴う発掘調査が増え始めました。県教育委員会では、それまで社会教育課で対応していた発掘調査を、昭和48年新設の文化課埋蔵文化財調査班で行うこととしました。その後増加する発掘調査に対応するため、昭和55年に青森県埋蔵文化財調査センター（略して「埋文センター」）を設立しました。埋文センターは埋蔵文化財の調査体制をさらに充実させるとともに、出土文化財の適切な収蔵・保管および有効な活用をはかるための中心的施設として、三つの調査グループ体制でその役割を担っています。

組織



施設

- ・新館— 総務グループ 整理室1～4 遺物収蔵展示室 図書閲覧室
- ・本館— 整理室 水洗い室 一般収蔵庫 PEG含浸室 X線室 金属器錆落し室 金属器脱塩処理室 種子等保管分析室 フローテーション室 遺物乾燥室
- ・六ヶ所収蔵庫（六ヶ所村） 七戸収蔵庫（七戸町） 大鰐収蔵庫（大鰐町）

センターの紹介

沿革

昭和	55	青森県埋蔵文化財調査センター発足・開所
	56	『埋文あおもり』第1号発行（～平成7年第14号）
	57	垂柳遺跡、葦窪遺跡調査
平成	元	葦窪遺跡出土「狩猟文土器」県重宝に指定
	1	第1回 埋蔵文化財調査報告会
	2	（現「青森県埋蔵文化財発掘調査報告会」）開催 『ふるさと青森の歴史』シリーズ刊行開始
	4	三内丸山遺跡（野球場予定地）調査開始
	6	三内丸山遺跡保存決定・東奥賞受賞 高屋敷館遺跡調査開始
	7	大石平遺跡出土品198点、国重要文化財に指定 『研究紀要』第1号発行
	10	センター機能の充実のため新館を取得
	12	垂柳遺跡・高屋敷館遺跡、国史跡に指定
	14	第1回「夏休みに考古学者になろう」開催
	15	表館遺跡出土「微隆起線文尖底深鉢形土器」 県重宝に指定
	25	二ツ森貝塚出土「鹿角製櫛」、近野遺跡出土 「人物線刻石冠」県重宝に指定

●青森県埋蔵文化財調査センターへの案内図●



最寄り鉄道駅

津軽新城駅より1.5km
新青森駅より2.6km
青森駅より6.0km

最寄りのバス停

新城駅前より1.5km
厚生病院前より700m

青森県埋蔵文化財調査センター

〒038-0042 青森市大字新城字天田内 152-15
TEL. 017-788-5701 FAX. 017-788-5702
URL : <http://www.ao-maibun.jp/>
E-mail : E-MZCHOSA@pref.aomori.lg.jp



センターHPへ



西目屋村 川原平(6)遺跡出土 狩猟文土器(縄文時代後期)

青森県埋蔵文化財調査センター

AOMORI PREFECTURAL ARCHAEOLOGICAL
ARTIFACTS RESEARCH CENTER

センターのしごと

埋蔵文化財調査センターは、公共工事や開発に先立って、土に埋もれている文化財の発掘調査を行い、その成果を報告書にまとめることが主な仕事です。また、出土品や記録資料の保管を行い、これらの資料の活用を図っています。

発掘調査

埋蔵文化財の発掘調査は次のような手順で行っています。



グリッド設定



粗掘り



土層観察



遺構確認



遺構精査



写真撮影



実測図作成

整理・報告書作成

報告書刊行までの整理事業は、次のような手順で行っています。



水洗い



注記



接合・復元



拓本とり



遺物実測



電子トレース



図版組み・原稿執筆



報告書刊行

資料の保存と活用

出土品や調査記録資料は、博物館などに貸し出し、資料の活用を図っています。金属製品や木製品などのもろい出土品には、科学的な保存処理も行っています。また、発掘調査の成果を一般の方に知っていただくために、発掘現場での「現地見学会」や一年間の調査成果を発表する「青森県埋蔵文化財発掘調査報告会」を行っています。親子で発掘・整理体験をする「夏休みに考古学者になろう！」も行っています。

収蔵・保管



図書閲覧室



収蔵展示室

保存処理



金属器の錆落とし



金属器の保存処理

教育普及活動



青森県埋蔵文化財発掘調査報告会(遺物展示)



夏休みに考古学者になろう！